

予 算 総 括 質 疑 通 告 議 員

令和5年第2回（3月）定例会

- 1 天 野 京 子
- 2 渡 部 道 宏
- 3 宮 崎 淳 一
- 4 小 嶋 正 彰
- 5 霜 鳥 榮 之
- 6 高 田 保 則

予算総括質疑通告要旨

令和5年第2回（3月）定例会

1 天野京子

1 みんなで子育て応援事業について

- 1) ファミリーサポートセンター事業委託料は 321 万円の予算でほぼ事務員 1 人分の人件費しかない。増額の要望はなかったか。
- 2) 学用品等のリユースの推進はSDGs活動として重要であり、推進しているが予算の計上はない。どのように取り組むのか。

2 2050ゼロカーボン推進事業について

- 1) ゼロカーボンチャレンジ事業所登録制度の創設のねらいはどのようなか。
- 2) 高効率設備更新や再エネ設備とはどのような設備を想定しているか。

3 認定こども園・保育園運営事業について

- 1) 3歳以上児の給食費の完全無償化により、保育料の無償化とあわせて基本無償となるが、親のその他の負担額はどのようなものがあるか。
- 2) 第2子が3歳未満であれば、保育料と給食費は半額、第3子は完全無償となるのか。
- 3) 保育の質の向上と人材確保のためには、会計年度任用職員が前向きに保育士資格を取得しようとする必要がある。待遇等についてどのように取り組むか。

4 すくすく親子健康づくり事業について

- 1) 一般不妊治療は令和4年度から保険適用となっており、原則3割負担で高額療養費制度も適用となるが、今まで通り10万円の限度額としたねらいはどのようなか。
- 2) 低所得の妊婦に対する初回産科受診料を助成するが、どのような条件となるか。
- 3) 産前・産後の支援費用助成で助産師による沐浴指導がなくなったが、産後ケア事業の拡充によるものか。
- 4) 家事・育児などの援助では予算額3,000円だが、初回300円を無料にできないか。
- 5) 令和5年度から出産育児一時金は50万円に増額される予定であり、第3子以降の出産に対し15万円を上限にした助成金が使われる見通しはどのようなか。

6) 3歳児健診における屈折検査機器を使用した眼の検査について、スポットビジョンスクリーナーを使用した検査委託料 10万2000円の内訳はどのようなか。

5 就労支援事業について

にいがた鮭プロジェクト事業の内容と期待する効果はどのようなか。

6 地域経済活性化支援事業について

街なかの賑わいづくりイベントや第50回あらいまつりの開催については、コロナ禍以前の開催基準としていくか、考えはどのようなか。

7 学校給食運営・食育推進事業について

市内在住の小・中学生の給食費の完全無償化は、他市に通う児童生徒の場合はどのような対応になるか。

2 渡部道宏

1 労働費について

1) コロナ禍が落ち着いた昨今、企業等において全国的に深刻な労働力不足とされているが、妙高市の現状はどのようなか。

2) 市として労働力確保についての認識はどうか。今後どのように考えていくのか。

2 観光誘客推進事業について

クアオルトウォーキング効果測定については、その効果が認められることから導入されたものと考えている。何故この時期に効果測定が必要なのか。検証結果については、学術的にも専門分野でクアオルトやウォーキングの有用性は示されているのではないのか。また、先進地の検証結果を参考として活用できないのか。

3 地域経済活性化支援事業について

1) あらいまつり実行委員会への補助金について、第50回記念として増額されているが、その内容はどのようなか。

2) 昨年総括質疑でも言及したが、あらいまつり実行委員会の組織体制は従前と違っているのか。

4 民間建築物吹付アスベスト対策事業について

- 1) 市内でアスベストを吹付している建築物はどの程度把握できているのか。
- 2) 一般的には、除去に多額の費用が必要だと言われているが、補助の算出根拠はどのようなか。
- 3) 公共事業用地にアスベストの吹付建築物があった場合、アスベストの除去費用は移転補償に加味されるのか。

3 宮崎 淳一

1 市史編さん準備事業について

- 1) 準備委員会の設置について、委員選出の基本的な考えはどのようなか。
- 2) 1市1町1村の合併により現在の妙高市は誕生した経緯があることから、地域ごとの役割が必要と考えるがどうか。
- 3) 準備委員会委員と会計年度任用職員のすみわけはどのようなか。
- 4) 高速自動車道使用料の36,000円の必要性についてはどのようなか。

2 生活交通確保対策事業について

- 1) デマンド型乗合タクシーについて、令和4年度はAIを活用した実証実験として2路線行ったが、その進捗状況と市民の反応はどのようなか。
- 2) AIオンデマンド交通の運行範囲の拡大等について、運行時間・停留所の見直し検討による変更時期はどのようになるか。
- 3) AIオンデマンド交通路線の拡大等を含め、今後を見据えた取り組みの考えはどのようなか。
- 4) 自動車購入費の内訳と更新時期の取り決めはどのようなか。

3 企業立地促進事業について

- 1) 企業の新規立地等、令和4年度の実績についてはどのようなか。
- 2) 投資額、新規雇用要件について、基準値の根拠はどのように決めているのか。
- 3) 企業誘致は地域経済に寄与すると同時に、市の財源確保についても重要な課題である。どのように進めていく考えか。

4 道路新設改良事業について

- 1) 各路線について、費用の内訳はどのようなか。
- 2) 用地購入および物件補償についての内訳はどのようなか。
- 3) 市内各所において道路改良等の要望が多くあると聞いているが、今後の財源確保を含めた当市の取り組みについて考えはどのようなか。

5 橋梁長寿命化修繕計画について

- 1) 修繕計画の更新時期とその根拠についてはどのようなか。
- 2) 橋梁修繕工事2橋の修繕内訳と修繕されたことによる効果についてはどのようなか。
- 3) 県内の市町村における修繕要望数に対し、完了している橋梁の割合は少ないのが現状といえるが、当市の財源内訳をみる限り国県の予算が大半をしめている。今後予測される橋梁の修繕に対する予算要望等働きかけについての考えはどのようなか。
- 4) 長森橋の予備設計委託料について、令和5年度に設計を終え、何らかの形で地元関係者に説明等を含めた取り組みは可能か。

6 妙高歴史遺産活用推進事業について

- 1) 斐太歴史の里の文化史について、実施内容と編集等において、地域の方を巻き込んだ取り組みになるか。
- 2) 絵本については配置される範囲と冊数はどのようなか。

4 小 嶋 正 彰

1 地域公共交通の整理統合について

定時定路線運行から利便性の高いA I オンデマンド交通への移行及び、地域と協働による利用者増を図るべきだが、どのようなか。

2 地域医療体制の維持・充実について

県立妙高病院と厚生連けいなん総合病院の医療体制維持について、現状はどのようなか。

3 持続可能な農業経営、農村地域活動について

- 1) 農業資材等の価格高騰に対する、一層の支援はどのようなか。
- 2) 園芸作物生産には、地域内消費作目を中心とした販売重視の取り組みが必要だが、どのようなか。
- 3) 中山間地域直接支払交付金・多面的機能支払交付金等を活用した農村の地域活動強化を図るため、農村型地域運営組織（農村RMO）を取り組むべきでないか。

4 グリーンシーズンの観光施策について

- 1) コロナ禍回復後のインバンド需要を見据えた上越・北信地域の広域連携及び、2次交通整備等を図る必要があるがどのようなか。
- 2) 高谷池ヒュッテの水源確保は、湿原等自然環境の保護を優先して行うべきでないか。

5 道の駅あらいについて

- 1) 道の駅あらいの立地条件を活かした観光面からの活用はどのようなか。
- 2) 道の駅あらいにおける防災拠点としての機能の明確化と強化をどのように考えているか。

6 中心市街地の道路・都市環境の整備と住宅政策について

都市計画街路石塚加茂線の早期延伸と合わせて、沿線土地利用計画の策定により戦略的まちづくりに取り組む必要があると考えるがどうか。

7 新図書館等複合施設の運営体制早期立ち上げについて

未来を担う子どもたちの学習環境と多世代交流の場を目指し、運営体制を早期に立ち上げる必要があると考えるがどうか。

5 霜鳥榮之

1 総合計画・SDGs推進事業について

- 1) SDGsの推進と実践の輪の拡大についての考え・手段はどのようなか。
- 2) 市域全体への浸透と実践の拡大をどのように進める考えか。
- 3) 市民の声を市政に生かすまちづくりをどのように考えているか。

2 地域づくり応援事業について

- 1) 地域づくりSDGs交付金について
- 2) 地域支援員、地区担当職員による地域活動支援について
- 3) 地域運営仕組みづくり支援事業について

3 地域づくりのための小水力発電事業について

基本的な考え方と具体的な対応策はどのようなか。

4 スマート自治体推進事業について

先進技術の活用はどのようなか。

5 生活交通確保対策事業について

公共交通ネットワークづくりのコミュニティバス運行において、地域の実情に即した効率性・利便性を向上させる取り組みはどのようなか。

6 森林多面的機能発揮対策事業について

沿道林整備事業の基本的な考え方と具体的な対応策はどのようなか。

7 人件費について（付属書類P12）

- 1) 職場環境でのトータルバランス（配置人数等）について、認識はどのようなか。
- 2) 正職員・会計年度任用職員の職務の位置づけ、管理体制の位置づけ等の認識はどのようなか。

8 安全・快適住まいづくり支援事業について

ゼロカーボン推進工事の補助に対する考え方と取り組みはどのようなか。

9 2050ゼロカーボン推進事業について

地熱を始めとした再生可能エネルギー、新エネルギーの導入に向けた支援・調査研究の取り組みはどのようなか。

1 鳥獣対策事業について

- 1) 鳥獣被害対策実施隊員と会計年度任用職員のそれぞれの取り扱いとすみわけはどのようなか。また、鳥獣対策専門員の実態と待遇はどのようなか。
- 2) わな狩猟免許の取得者の位置づけはどのようなか。

2 妙高歴史遺産活用推進事業について

- 1) 4つの新たな取り組みについて、それぞれの内容はどのようなか。
- 2) 宝蔵院御膳の活用促進について、どのように取り組むのか。

3 スキーのまち妙高推進事業について

- 1) スキーのまち妙高を掲げているが、妙高市のスキーに対する基本的な考え方はどのようなか。
- 2) アスリート強化育成事業について、どのような指導者がどのような方法で実施するのか。
- 3) スキーのまち妙高として、小・中学校のスキー授業から積極的に取り組む必要があるのではないか。